



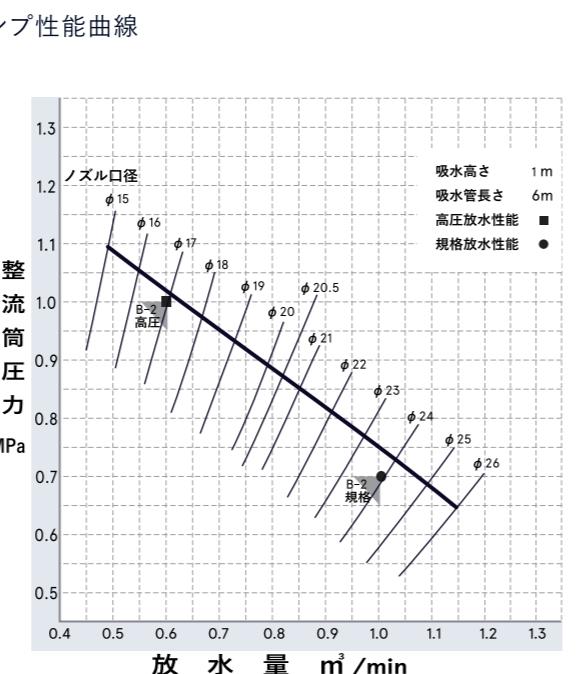
4
TROKE

消火・排水対応

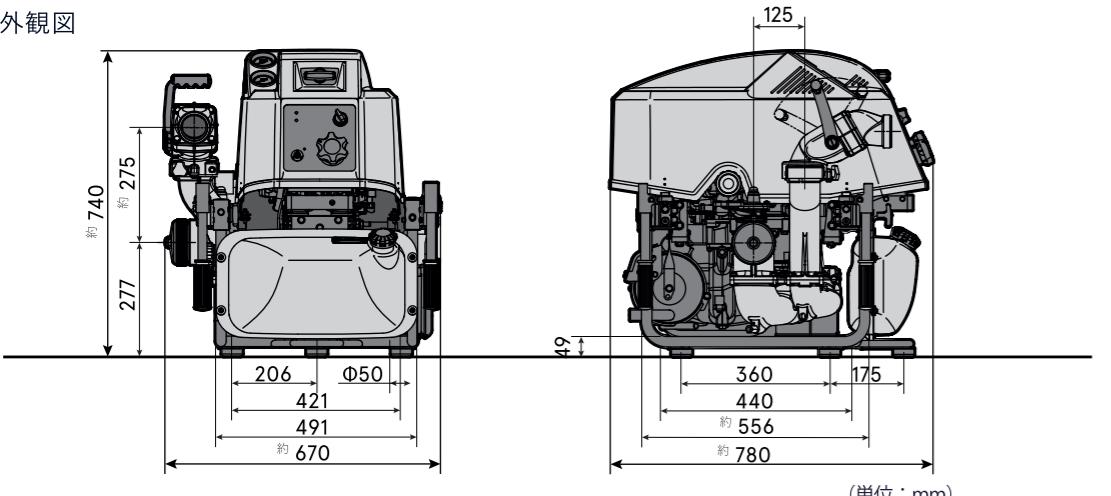
VF63BS-R B-2 級

自動中継機能付

山火事・森林火災など、 水利の確保が困難な現場で力を発揮



外観図



可搬消防ポンプの維持管理について

- 可搬消防ポンプは万一の火災(災害)に備え、定期的な点検、整備が必要です。
 - 機能を確実に発揮する推奨使用期間は10年が目安です。
 - 整備資格者による定期点検整備は6ヶ月毎に実施して下さい。
 - 整備については、可搬消防ポンプ等整備資格者が実施する事をお奨め致します。
(補修用部品の供給につきましては現在生産打ち切り後10年とさせて頂いております)

• 雜誌
• 安

- ・製品のご使用前に、取扱説明書 保証書 等をよく読んで下さい。
また、製品のコーションラベルの表記内容もご確認下さい。
 - ・安全のため定期点検 整備を実行しましょう。
 - 写真は、撮影条件・印刷インキの特性などから、実際の色と違って見える場合があります。
 - 仕様およびデザイン等は、予告なく変更することがあります。



ISO 9001:2015 認証取得
ISO14001:2015
一ハツ株式会社
ISO9001 及び ISO14001 の認定取得会社です。

THOMAS

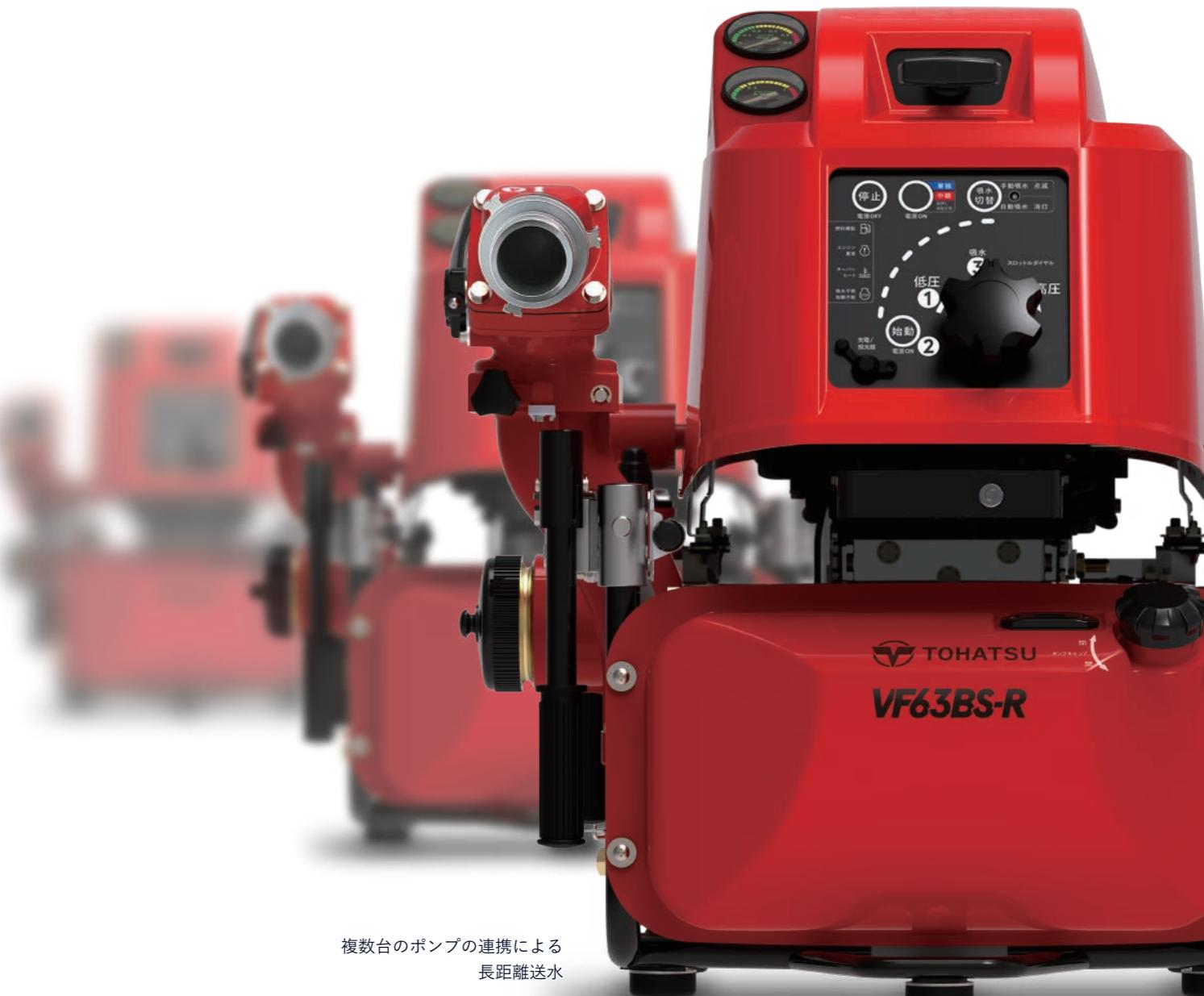
www.tohatsu.com

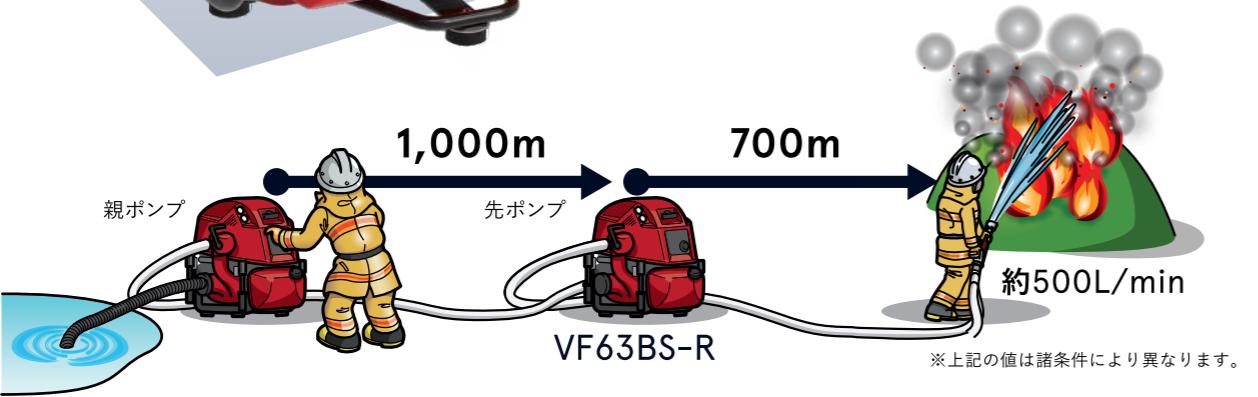
本 社 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
TEL 03-3966-3115 FAX 03-3966-0090
大阪営業所 〒530-0043 大阪府大阪市北区天満 1-8-27
TEL 06-6358-2971 FAX 06-6358-3176



トーハツ製品のお問合せ、お求めは下記の販売店へ

複数台のポンプの連携による 長距離送水





複数台のポンプを繋ぐ送水において、先ポンプにVF63BS-Rを使うことで、親ポンプの操作のみで先ポンプの操作が自動となり、少人数での運用が可能です。ベースモデルの扱いやすさはそのままに、広範囲への対応が可能になります。中継送水の際には『コワレンゾー』と『フローインジケータ FX-5』の使用を推奨します。

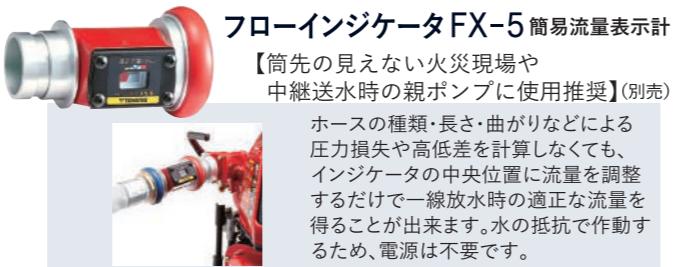
注目の装備



トリプルファン クションスイッチ
1つのスイッチで『電源』『ON中継運転モード』『単独運転モード』のポンプの状況を確認できるインターフェイス。

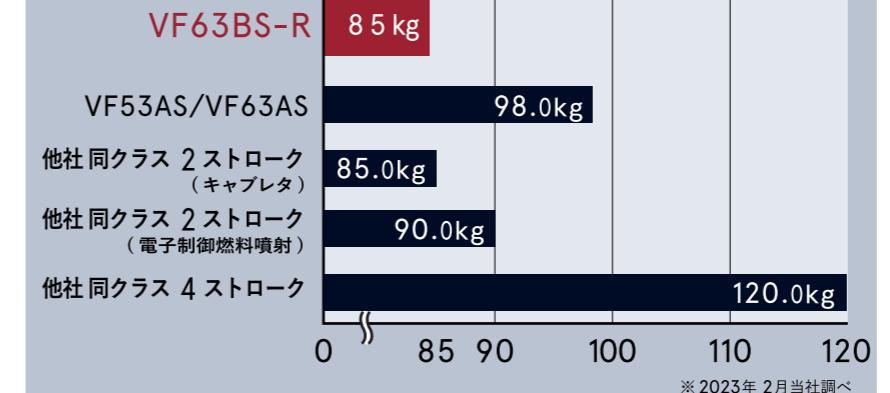


空水圧判定制御
自動中継運転時空気圧と水圧をセンサで感知することにより操作圧を制御し、運転トラブルを未然に防止。



クラス最軽量

乾燥質量比較(セルスタート式)



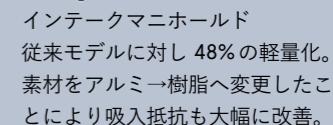
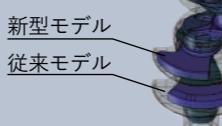
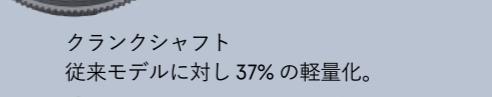
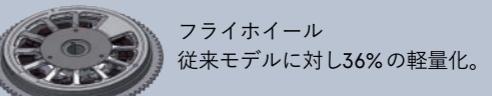
注目の装備



軽量化を目指した設計思想



エンジンのダウンサイ징化や部品の樹脂化等により乾燥質量が従来モデルに対して大幅に軽量化。可搬式消防ポンプとして機動力がアップ。



排水用の水害対策機能

ポンプ関係部分をアルマイト処理

硬質アルマイト処理を施したインペラを採用。土砂水を吸込むことによって起こる摩耗トラブルの発生を抑え、フローティングストレーナーを使用することで排水ポンプとしても活躍。

アルマイトはアルミに浸透した皮膜を形成。



フローティングストレーナ (別売)



約5cmの浅い水利からでも吸水可能なフローティングストレーナーと組み合わせることで、排水用ポンプとしても使用が可能。消防ポンプによる排水は高圧排水が可能です。

ダイレクトスロットルシステム

完全電子制御ガバナシス템によりガバナスプリングを廃止しスロットルのレスポンスが大幅に向上。リリースバルブの操作が軽くなりスロットルのレスポンスが大幅に向上。

放水・吸水



放水バルブハンドル操作力の軽減
水抜けの改善によりボールバルブ内の残圧が低下されたため、ハンドルの操作性が向上。小さな力で素早く確実にバルブの操作が可能。

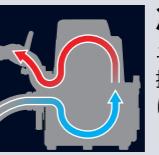


大型アルミオイルレス真空ポンプ
吸水性能に優れた大型の真空ポンプを搭載することで吸水時間を大幅に短縮。材質にアルミを採用することで軽量化。

始動・安全



リコイルスタートアの引き力低減
始動性に優れたエンジンと改良型のデコンプによって、軽い力でリコイルによるエンジン始動を実現。



冷却水還流装置
エンジンの冷却水をポンプに還流し無排水化。サーモバルブ(オプション)により締切運転可能。



アンダーレイアウトフュエルタンク
低重心による安定性の向上と運転時の振動を低減するレイアウトデザイン。給油のしやすさと燃料コック操作を必要としない扱い易さも特徴。



バッテリレス
電子制御燃料噴射装置
バッテリの電源無しで燃料噴射装置が起動するため、万が一のバッテリ上がりでも、リコイルスタートにてエンジンが始動。

操作・視認

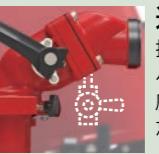


ゲージの視認性向上
ゲージの取付位置と角度を見直すことで優れた視認性を確保。ポンプの運転状況をしっかりと把握した適切な判断と運転操作が可能。



自動吸水システム
エンジン始動後の真空ポンプ作動を自動化。吸水不可能時はエンジンが自動停止して操作モニタで吸水不能であることを警告表示。

保守・環境

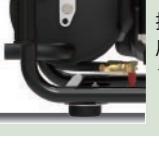


運転後メンテナンスの省力化
排水経路の見直しによってディスクチャージバルブのドレンバルブと空気用バルブを廃止。片付け作業が簡素化しバルブ操作忘れによるトラブルを解消。



燃料ドレンコックレス
電子制御燃料噴射装置の採用によりキャブレタエンジンで面倒な保管前の燃料ドレンの操作がなくなり、操作忘れによるトラブルを排除。

リリースバルブ



排気マフラの冷却水ジャケット内へ過剰圧力が加わると開弁、排水することでマフラの変形や破損によるトラブルを防止。